

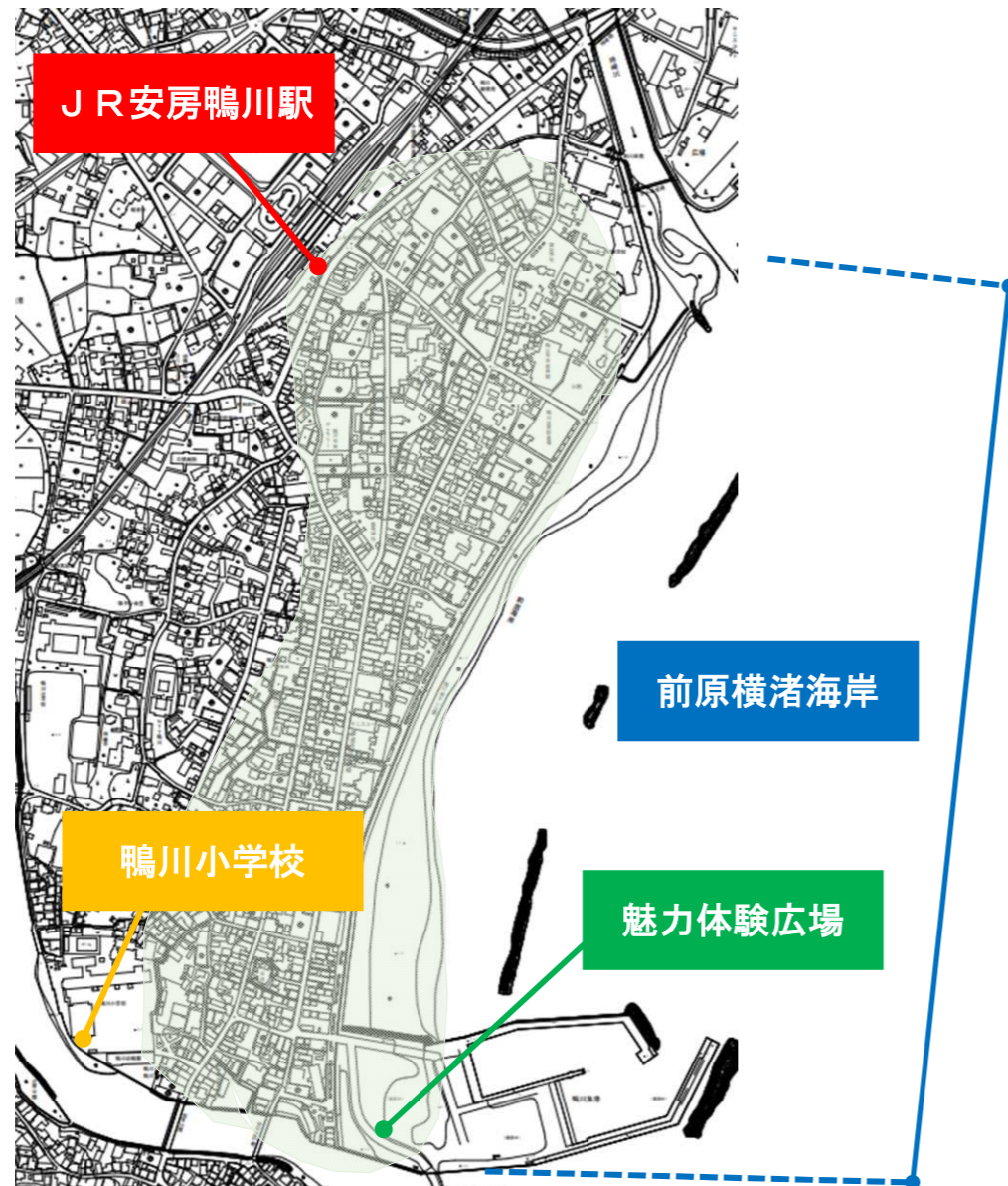
鴨川市海辺のグランドデザインの概要

1 グランドデザイン策定の目的

鴨川市が取り組む「海辺の魅力づくり推進事業」を推進するため、当該地域の将来像を定める「鴨川市海辺のグランドデザイン」を策定し、当該事業の中長期的な視点として、市民、民間事業者、行政などの全ての関係者が目指すべき方向性を共有する。

2 対象地域

グランドデザインの対象地域は、前原横渚海岸周辺地域とし、後背市街地や旧鴨川市市民会館、鴨川市芝浜プール、鴨川潮さい公園、海浜プロムナード、鴨川市魅力体験広場周辺も含むものとする。また、JR安房鴨川駅から旧鴨川市市民会館までのアクセス道路もグランドデザインの対象地域とする。



3 対象地域の主要課題

【道路交通ネットワーク】

- ・駐車場の収容台数に限りがある。
- ・鉄道、バスともに運行本数が少ない。
- ・安房鴨川駅については待合室のスペースが狭い。
- ・全体的に道幅が狭い。国道からのアクセス性にも問題がある。

【観光機能（自然）】

- ・宿泊施設や飲食店、駐車場、シャワー・更衣室など海のレジャーのための施設が十分に整備されていない。
- ・SNSで「バズる」ような映えスポットがない。

【娯楽機能】

- ・温水シャワーやリラクゼーション施設等がない。
- ・公園は、遊具の老朽化し、また雨天時に遊ばせることが難しい。

【商業・飲食機能】

- ・カフェなどのくつろぐことができる施設がない。
- ・観光客の購買意欲を満たす商品、商業施設が少ない。

【芸術・文化機能】

- ・文化機能を有する施設が充足していない。

【防災機能】

- ・海拔が4メートルと低く、津波リスクに晒されている。

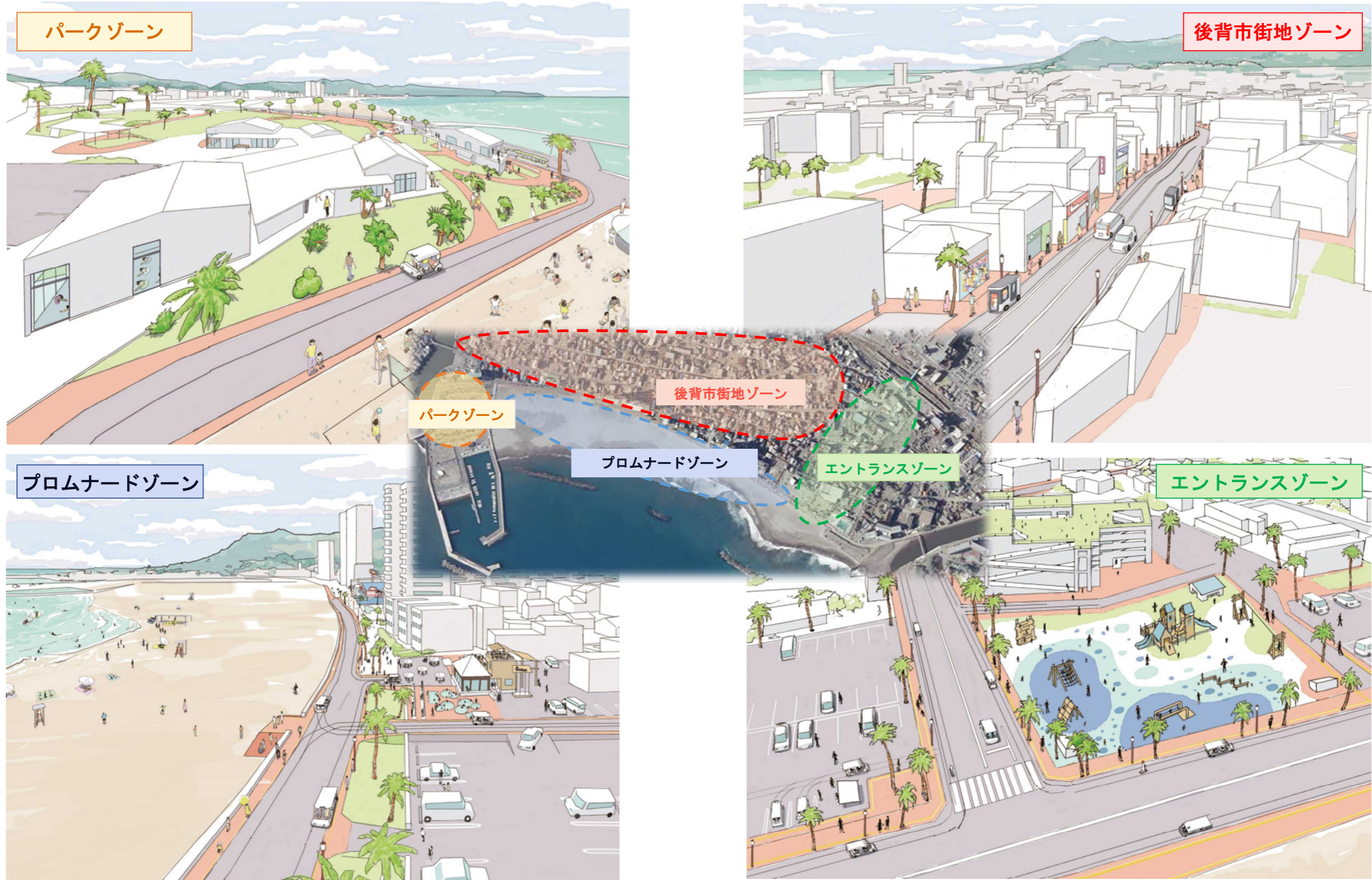
【教育機能】

- ・学習塾や自学自習用の施設が少ない。

【健康福祉機能】

- ・遊歩道に段差があること、点字や音声などによる案内機能が整備されていない。
- ・アウトドアフィットネスなどの体力づくりに資するような活動場所が整備されていない。

4 将来像のイメージ図



5 目指す将来像

【エントランスゾーン】

海の玄関口「エントランスロード」と多くの人で賑わう交流の拠点「フロントエリア」の2つのエリアからなるゾーン

- ・エントランスロード：駅から海辺のまでのアクセスロード
- ・フロントエリア：旧鴨川市市民会館周辺エリア

◆エントランスロード

～海を身近に感じ、レジャー・リゾート気分を醸し出す海岸への玄関口～

No.	方向性	取組
1	●観光地としての雰囲気（レジャーリゾート感）の醸成	●景観に配慮した道路環境整備
2	●駅から海までの道を快適に行き来できる環境整備	●新たな公共交通システムの検討 ●マイクロモビリティ（電動キックボード等）の貸出 ●レンタサイクルの運用 ●道路環境整備 ●道路清掃ボランティア ●駐車場の整備（海岸周辺） ●案内看板の整備
3	●駅周辺の環境整備	●駅前観光案内所から海辺エリアへの誘導 ●タクシーの利便性向上 ●駅待合所の充実化（多目的スペースの整備など）

◆フロントエリア

～市内外から人が集い、遊び、くつろぎ、様々な機能を享受できる多世代交流拠点～

No.	方向性	取組
1	●市内観光客を対象とした情報発信など観光の拠点となる場所	●エリアマネジメント機能の整備 ●観光情報センターの整備 ●観光コンシェルジュ機能の整備 ●観光協会、観光プラットフォームなど関係団体の事務所機能 ●移住ニーズ等への対応
2	●文化芸術活動をはじめ多くの市民が常に集まる場所	●多目的ホール・会議室等の整備 ●その他行政機能の整備
3	●市民や観光客で賑わう場所 ●ファミリー層が楽しめる場所 ●鴨川ブランドの食や特産品が楽しめる場所	●屋内娯楽施設の整備 ●温浴施設の整備 ●カフェの併設された図書スペースの整備 ●飲食・物販機能の整備 ●交流イベントの実施
4	●海の魅力を感じられる場所	●展望・屋上テラスの整備 ●新たなアクティビティの提供
5	●安全・安心な施設	●津波の一次避難機能の整備
6	●障がいを抱える方も利用しやすい場所	●ユニバーサルデザインを前提とした施設の整備
7	●子どもの遊び場 ●多世代が交流する場所	●潮さい公園のリニューアル（デザイン性、機能性に優れた遊具やアスレチック） ●アーバンスポーツのできる場所の整備
8	●来訪者のアクセス性の向上	●駐車場の整備

【プロムナードゾーン】

海を感じながら散策を楽しめる「ビーチショップロード」と、海の魅力を体験できる「アクティビティエリア」の2つのエリアからなるリゾート気分を醸し出すゾーン

- ・ビーチショップロード：海浜プロムナード沿い
- ・アクティビティエリア：海岸一体エリア

◆ビーチショップロード

～日本の渚百選と海を満喫できる空間～

No.	方向性	取組
1	●日本の渚百選である海の絶景を楽しむ場所	●海に見える飲食施設 ●ストリートファニーチャー（お洒落な休憩用ベンチなど）の設置 ●シャワー・ジャグジー等を備えたマリンステーションの整備
2	●外国人観光客が楽しめる観光スポット	●多言語案内看板の設置 ●外国人に対応した飲食店などの整備
3	●新規出店による賑わいの創出	●支援制度（企業立地奨励金など）の運用 ●道路を活用したイベント・飲食店の進出
4	●ランニングやウォーキングを快適に楽しむ場所	●コース表示（100m毎など）の整備 ●用途別の道路ペイント ●道路環境整備 ●点字ブロックの整備
5	●海の景観を維持	●ボランティアによる道路清掃 ●植栽管理 ●トイレ等施設の適正管理
6	●運動機会の創出	●ストレッチ用器具の整備 ●屋外フィットネススペースの整備
7	●夕方・夜間での利用促進	●街灯（フットライト等）の整備
8	●他エリアからの快適なアクセスの確保	●新たな公共交通システムの検討

◆アクティビティエリア

～海を活かしたイベントや施設が充実した鴨川の新たな娯楽空間～

No.	方向性	取組
1	●市内外から多くの人が集まる場所	●サーフィンなどのマリナクティビティ体験の提供 ●ライブ、ビーチスポーツ大会の誘致
2	●絶景の撮影などSNSで発信される場所	●写真映えするオブジェの設置 ●ウォールアートの整備 ●ビーチクリーン活動の実施
3	●障がいを抱える方でも海の魅力を楽しむユニバーサルビーチ	●バリアフリー・ユニバーサルデザインに対応したトイレ、シャワー等施設の設置 ●海岸へのアクセス環境の整備 ●音声案内による海辺の散策機会の提供 ●安全・安心で誰でも参加可能なアクティビティの提供 ●砂浜用車椅子の貸出 ●案内看板の設置

【パークゾーン】

市民や観光客が本市の魅力を経験することのできる地域の賑わい創出を目指す交流拠点ゾーン

～市民や観光客が本市の魅力を経験でき、地域の賑わいが生まれている交流拠点～

No.	方向性	取組
1	<ul style="list-style-type: none"> ●市内外から多くの人が集まる賑わい創出の場所 ●市民がゆったりくつろぐ空間 ●地元の産品を楽しむ場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●カフェ・ベーカリー施設の整備 ●浜焼きBBQの提供 ●クラフトビールの製造・販売 ●地域事業者の出店場所の整備 ●イベント広場の整備 ●ヨガ・マッサージなどの体験イベントの実施
2	<ul style="list-style-type: none"> ●海の魅力を体験できる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●マリンスポーツの機会の提供 ●サーフィン用具の貸出 ●シャワールーム・脱衣所の整備
3	<ul style="list-style-type: none"> ●アクセス性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たなアクセスルートの整備 ●駐車場の整備
4	<ul style="list-style-type: none"> ●来訪者への観光案内 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光情報コーナーの整備

【後背市街地ゾーン】

古くからの商店と新しいショップが入り交じり、趣のある街並みの雰囲気を醸成する地域の芸術・文化・商業の新たな中心地ゾーン

～地元住民の芸術・文化・商業の新たな中心地～

No.	方向性	取組
1	<ul style="list-style-type: none"> ●市内外から多くの人が集まる賑わい創出の場所 ●芸術・文化によるまちづくり ●移住体験ができる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●空き家・空き店舗活用のための支援制度 ●アートによる街並みの形成・まちづくりの推進 ●空き家・空き店舗を活用した飲食店・雑貨店の開業 ●移住体験施設の整備 ●各種ワークショップの開催
2	<ul style="list-style-type: none"> ●若い世代が集う場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●若い世代向けカフェなどの交流の場の整備
3	<ul style="list-style-type: none"> ●アクセス性の確保 ●歩行者の安全確保 	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな公共交通システムの検討 ●マイクロモビリティの貸出 ●駐車場の整備 ●道路環境整備 ●演出照明などの街灯整備
4	<ul style="list-style-type: none"> ●外国人観光客が楽しめる場所 	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統工芸などが体験できる文化施設の整備 ●外国人向け日本料理店の整備 ●多言語に対応した案内看板の設置

6 グランドデザイン実現に向けた取組

【多様な主体の参画促進と連携】

市民や地域コミュニティ、関係団体等によるまちづくりへの主体的な参画を促進するための環境整備に取り組む。

各種施設の整備・運営にあたっては、民間の優れた経営ノウハウ・技術力・資金力を活かすことでより質の高いサービス提供が可能となるため、積極的に民間活力を導入する。

【既存ストックの活用】

既存施設の機能を有効に活用していくことを優先的に検討し、追加的なコストをかけずに利用者の便益を増大させていくための創意工夫に注力する。

また、対象地域だけでなく、市全体を見渡した公共施設及び行政機能のあり方を検討し、市民サービスの向上と行政機能の効率的な運営を図る。

【取組の方向性】

グランドデザイン実現のためには、まず、当該コンセプトを市民に広く周知し、理解を得ていくことが重要であるため、関係事業者や市民の意見との調整を図る取組が必要である。

市民、関係事業者等との合意形成が図られた取組から順次、施設整備・運営の実施に向けた役割分担や資金調達の具体的手法について、実施計画を策定し、事業化を行う。

各取組ごとに進捗が異なるものであるが、いずれの取組についても同様のスキームにて推進する。

【進捗管理】

概ね10年を目途に、将来予想の実現性やその実現に向けた取組状況を総括し、必要な見直しを行うこととする。今後の社会情勢の大きな変化やまちづくりに関係する法令等の大幅な改正、鴨川市の最上位計画である総合計画やその他個別計画等が改訂される際には、この限りとせず、柔軟に見直しを行うものとする。